

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

令和3年度

自己評価報告書

令和3年3月16日

那覇市医師会 那覇看護専門学校

目 次

本書の使い方	1	基準4 学修成果	3 3
1 学校の理念、教育目標	2	4-13 就職率	3 4
2 本年度の重点目標と達成計画	3	4-14 資格・免許の取得率	3 5
3 評価項目別取組状況	5	4-15 卒業生の社会的評価	3 6
基準1 教育理念・目的・育成人材像	6	基準5 学生支援	3 7
1-1 理念・目的・育成人材像	7	5-16 就職等進路	3 8
基準2 学校運営	1 2	5-17 中途退学への対応	4 0
2-2 運営方針	1 3	5-18 学生相談	4 1
2-3 事業計画	1 4	5-19 学生生活	4 2
2-4 運営組織	1 5	5-20 保護者との連携	4 5
2-5 人事・給与制度	1 7	5-21 卒業生・社会人	4 6
2-6 意思決定システム	1 8	基準6 教育環境	4 8
2-7 情報システム	1 9	6-22 施設・設備等	4 9
基準3 教育活動	2 0	6-23 学外実習、インターンシップ等	5 0
3-8 目標の設定	2 3	6-24 防災・安全管理	5 2
3-9 教育方法・評価等	2 4	基準7 学生の募集と受入れ	5 5
3-10 成績評価・単位認定等	2 8	7-25 学生募集活動	5 6
3-11 資格・免許の取得の指導体制	2 9	7-26 入学選考	5 9
3-12 教員・教員組織	3 0	7-27 学納金	6 0

基準 8 財 務	6 1
8-28 財務基盤.....	6 2
8-29 予算・収支計画.....	6 4
8-30 監査.....	6 5
8-31 財務情報の公開.....	6 6
基準 9 法令等の遵守	6 7
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	6 8
9-33 個人情報保護.....	7 0
9-34 学校評価.....	7 2
9-35 教育情報の公開.....	7 4
基準 10 社会貢献・地域貢献	7 5
10-36 社会貢献・地域貢献.....	7 6
10-37 ボランティア活動.....	7 9
4 令和 3 年度重点目標達成についての自己評価	8 0

本書の使い方

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1 学校の理念、教育目標

教 育 理 念	教 育 目 標
<p>本校は、看護職に必要な人間への深い関心を示す豊かな感性と幅広い教養を育て、人々の健康生活を支援し、社会に貢献できる看護実践者を育成する。その教育は、学習者の主体性を大切に学習者と教師が共に学問を探究し築かれる。</p>	<p>教育目的 本校は、看護実践者として人間力、判断力、実践力を身につけ、地域医療に貢献できる人材の育成をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の生命を尊び、一人ひとりの権利を守る倫理的行動がとれる。 2 他者との関係を築くことができる。 3 看護者に必要な知識・技術・態度を身につけることができる。 4 自律心・探究心を持ち、創造性を発揮できる。 5 地域社会に関心を持ち、保健・医療・福祉を考えることができる。 6 看護学を学び、自分の健康生活と人生の充実を考えることができる。 <p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解する能力を培う。 2 人間の健康と生活を、自然・社会・文化的環境との相互作用の観点から理解する基礎的能力を培う。 3 一人ひとりの多様な価値観を認め、看護実践者として、対象の意思決定・自己実現を支援できる基礎的能力を培う。 4 看護者としての責任と義務を担い、職業倫理に基づいた行動決定をするための基礎的能力を培う。 5 看護実践者として、自律・探究・創造する能力を育み、将来にわたり、自己の成長と人生の充実を考えることのできる能力を培う。 6 看護の知識・技術・態度を活用し、人々の健康課題を明らかにし、看護の対象に対して科学的根拠に基づいて安全に看護実践できる基礎的能力を培う。 7 あらゆる発達段階、健康段階及び障がいの状態に応じた看護を安全に実践するための基礎的能力を培う。 8 保健医療福祉制度と他職種の役割を理解し、協働するとともに、人々が社会資源を活用できるよう調整するための基礎的能力を培う。 9 国内外の動向に関心を持ち、社会の変化及び状況に応じた看護の役割を認識できる基礎的能力を培う。

2 本年度(令和3年度)の重点目標と達成計画

令和3年度重点目標	達成計画・取組方法
<ol style="list-style-type: none"> 1 安定した学校運営 2 教育課程の円滑な運営 3 教職員の資質の向上 4 教育環境の整備 5 学生支援の強化 6 入学生・卒業生への支援 7 広報活動 8 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換 9 後援会及び同窓会活動の支援 	<p>(1) 安定した学校運営</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育目的・目標の達成に向けて組織体制・財政基盤の安定を図る。 ②均衡のとれた財政管理に努め、支出については適切な節減に努める。 ③自己点検・自己評価を実施し事業の成果状況と課題を明らかにし、更なる運営の安定化をめざし、自己点検・自己評価を継続的に実施し本校の特色ある教育活動及び教育全般等の結果については、ホームページ等で情報公開し発信していく。 ④学校の将来の在り方については「看護学校の将来を考える会」については、令和2年度末において休会としている。社会の流れを勘案し今後必要と判断した場合に委員会を再開し議論を進めていく。 <p>(2) 教育課程の円滑な運営</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外来講師、専任教員、臨地実習施設の確保・定着に努める。 ②教育実践においては、教育目的・目標の達成をめざして、ICTの活用や外部機関との連携で学習環境を整えることにより、生命の尊厳を基盤に看護職に必要な基礎的知識、技術、態度を培えるよう創意工夫した取り組みを行う。 ③実習指導者との情報交換、連携・協働を推進する。 ④2022年から実施される新カリキュラム完成に向けて取り組む。 <p>(3) 教職員の資質の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教職員のキャリア開発を支援し資質向上を図る。 ②授業参観計画を立案・実施できるよう取り組んでいく。 ③教務主任及び看護教員養成講習会未受講者の研修派遣をする。 ④県内外で行われる研修会や教育研究学会等へはオンラインによる参加も推奨・支援していく。 ⑤キャリアラダーを活用した目標管理に基づく評価面接を実施する。 <p>(4) 教育環境の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ICT環境・インフラ整備を行い、オンライン授業がトラブルなく進められるよう学生の主体的な学習環境を支援していく。 ②教材備品の管理を徹底し、教材教具を積極的に活用し、学生の主体的な学習活動を支援する ③建物等の自主点検を定期的に行い破損防止、事故防止の強化を図り、保全管理に努める。 ④駐車場の整備、花壇やロビーの美化に努め、学生の情緒教育を促進する

令和3年度重点目標	達成計画・取組方法
	<p>(5) 学生支援の強化</p> <p>①看護師としての基礎的能力の習得、学習活動、経済的支援に努める。</p> <p>②社会人・組織人としての基礎的能力、就職・進学等専門性の追求や絶えず学び続ける力、多様性や創造性を身につけることができるようにキャリア発達を支援する。</p> <p>③コロナ禍における家庭の経済的負担や不安に対する対応や奨学金、修学資金の相談や貸与支援、心の相談・学業相談、就職及び進路相談等に関してより一層、相談しやすい環境や相談体制を整える。</p> <p>④学生の生活・学習状況の変化をキャッチし、早期から保護者・カウンセラーと連携し、学業継続ができるよう心のケア（メンタルヘルスケア）を配慮し支援する。</p> <p>⑤国試対策として3年間の支援計画の下、国家試験合格100%をめざす。</p> <p>(6) 入学生・卒業生への支援</p> <p>①プレスクールはコロナ禍において3密を避け、開催方法を工夫し状況に応じてオンラインを活用して実施できるように取り組む。</p> <p>②コロナ禍において就職先にスムーズに適応し、離職することなく仕事を継続できるよう卒業後5ヶ月と1年目に里帰りを実施する。コロナの状況によっては3密を避け、開催方法を工夫し状況に応じてオンラインを活用して実施できるように取り組む。</p> <p>③就職先との連携、教育へのフィードバックができるよう就職先や実習施設との連携・協働会議等の取り組みに努める。</p> <p>(7) 広報活動</p> <p>①日頃の学校生活等を学校ホームページ及びブログや那覇看便りの発行・充実をめざし、日頃の学校生活等を紹介していく。</p> <p>②学校説明会・学校祭・オープンキャンパス等については3密を避け開催方法を工夫し状況に応じてオンラインを活用し、実際の学習内容や学校生活を紹介できるよう取り組んでいく。</p> <p>(8) 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換</p> <p>①予測不能な状況において地域活動に積極的に学生ボランティアとして参加することは困難であるが、地域の状況を確認し3密を避け社会につながる環境が整えられた場合には支援をしていく。</p> <p>②地域の児童・生徒の学校見学会、職場体験を受け入れ看護職を理解し将来の看護師を目指すきっかけになるように努める。</p> <p>③市町村主催の健康講座へ講師派遣等を積極的に行い、地域との交流を推進していく。</p> <p>④日本看護学校協議会、沖縄県看護教育協議会との情報交換を進め、他の関連機関との連携に努める。</p> <p>(9) 後援会及び同窓会活動の支援</p> <p>①後援会及び同窓会活動がさらに活発に行えるよう、事務的支援を行う。</p>

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、従来の教育理念として「看護職に必要な人間への深い関心を示す豊かな感性を持った看護実践者を育成する」と明文化していたが、新カリキュラムにむけて教育評価を行い、その結果、新教育理念を『自律した看護師』の育成に修正し看護師養成であることを明確化することができた。『自立した看護師』を育成するために、学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化した。年度初めに重点目標・事業計画を提示し教職員で周知している。前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を行っている。</p> <p>2022年（令和4年度）に新カリキュラム開始に向け全教職員が改正の趣旨を理解し、社会のニーズに即した新カリキュラム運営に取り組む。</p> <p>教育理念を実現するために、教育目的・目標を基盤に、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを明確化し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の領域ごとにシラバスに掲げ教育計画を立案・明確化した。</p> <p>新たな教育理念を学生・保護者、関連施設、外来講師等へ浸透させるために、説明会の開催や教育理念を理解しやすいようロゴマークを修正し、周知の工夫を行っていく。今後も後援会や学校便り等にて保護者への周知を図る工夫を行っていく。</p>	<p>学生は「自立した看護師」をめざし主体的に学べるよう、アクティブラーニングを教育活動として展開していく。</p>	<p>入学前授業として、プレスクールを初回は対面で行い、2回目・3回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、オンラインプレスクールに切り替え実施。</p> <p>実習施設と連携協力の下、在学中の支援として行っているティーチングアシスタント（TA）による技術教育は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策により当初計画より回数減で行なった。</p> <p>学年を超えた交流や学びの共有する機会についてもコロナ禍の影響があり、行事の中止を余儀なくされた。</p> <p>委員会など少数単位で学生間の交流を行い、学校生活への取り組みに活かしている。</p> <p>コロナ禍にあっても学生の学びを止めないための教育活動の工夫として、ICT教育プロジェクトチームを設置し、遠隔授業に関するガイドラインを作成し、学生とともにICTを活用した活動を取り組むことができた。</p> <p>授業や実習に関しては、オンラインによるシナリオベースのシミュレーション学習やオンライン学内実習方法、実習先施設や指導者の協力のもとオンライン上でオリエンテーション（動画による施設紹介）やカンファレンス所感の発表などを工夫し展開することができた。</p> <p>卒業生に対しても卒業後5か月目、卒業後1年目に里帰りをオンラインにて実施し、卒業後の精神的ケアや、臨床実践能力の支援を行った。</p>

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	①理念に沿った目的・育成人材像になっているか ②理念等は文書化するなど明確に定めているか ③理念等において専門分野の特性は明確になっているか ④理念等に応じた課程（学科）を設置しているか ⑤理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか ⑥理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか ⑦理念等の浸透度を確認しているか ⑧理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4	①②理念等は文章化し明確に定めており、理念に沿った育成人材像になっている。 ③新カリキュラムに向けて教育評価を行い「自律した看護師」を育成するという専門分野の特性は明確にすることができた ④⑤理念に応じた学科を設置し、各専門領域において具体的な目標・計画・教育方法等を定めている。⑥ ⑦理念等についてホームページや学校案内パンフレットに表示し、玄関ロビーや各教室に理念を掲げ認識への働きかけを行っている。また、学校満足度評価において理念の浸透度が確認できる評価表を用いて実施している。 ⑧社会の要請に対応する新カリキュラムを作成した。 ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを明文化した。			<ul style="list-style-type: none"> ・学則・細則・内規 ・学生便覧 ・シラバス ・臨地実習要項 ・臨地実習概要 ・健康管理ノート ・授業評価 ・学校案内パンフレット ・学校ホームページ ・学校満足度評価表 ・カリキュラム開発会議議事録 ・教育理念の表示

<p>1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか</p>	<p>①課程(学科)毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか ②教育課程、授業計画(シラバス)等の策定において関連業界等からの協力を得ているか</p>	<p>4</p>	<p>①看護専門職業人として必要な知識・技術・態度・人間力・判断力・実践力を卒業生像として明確にしている。 ②教育課程、授業計画等の策定において関連業界との連携・協力を得ている。 コロナ禍においても実習関連施設へ TA や講師派遣を依頼し連携しながら実施している。</p>			<p>学生便覧 みちしるべ(シラバス) カリキュラム開発会議議事録 ユニフィケーション会議議事録 学校案内パンフレット ・学校ホームページ ・臨地実習要項 ・臨地実習概要 ・講師依頼承諾書 ・実習委託契約書 ・学校関係者評価委員会議事録 ・教育課程編成委員会議事録 ・動画 ・新たな学校生活のためのガイドブック ・臨地実習における感染症対策ガイドライン</p>
---	--	----------	--	--	--	---

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<p>③専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか</p> <p>④学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか</p> <p>⑤教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか</p>	4	<p>③教員採用においては臨床経験5年以上従事した者とし看護関係の協力を得ている。</p> <p>④⑤実習実施にあたっては実習施設として認可された施設の協力を得て、校内実習や臨地実習へと連携できるように実施している。学内の実習、講義において、実習施設の専門、認定看護師の参加協力を得ている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学内実習と臨地実習の学生の学びに差が出ないように工夫を行っている。実習施設における臨地実習が行えないが学内実習において、学生の学びの遅延にならないよう、オンライン、動画などあらゆる教材を活用し、リアリティーに近い実習を実践できるよう工夫している。</p> <p>学生の経験をできるだけ平等な経験ができるような実習先との綿密な情報交換や計画の見直しを行っている。</p>			実習等で使用している視覚教材。

<p>1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</p>	<p>①理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか ②特色ある職業実践教育に取り組んでいるか</p>	<p>4</p>	<p>①②シナリオベースのシミュレーション学習、協同学習等、学生が主体的に学べるようアクティブラーニングを活用した授業方法、教育活動として展開している。入学前支援として、プレスクールの実施、在学中は、実習施設と連携協力の下、ティーチングアシスタント（TA）による技術教育を行っている。卒業生に対しては、里帰りを実施している。</p> <p>①放送大学との連携契約の下ダブルスクール制度を取り入れている。コロナ過において、福祉環境コーディネーターの講座を開講できなかったが、今後、学生が主体的に資格取得に向けて取り組める方法を検討していく。</p>	<p>①学生が講座に受講できるように申し込み方法や開催スケジュールが分かる情報を発信する方法を検討する。</p>	<p>①校内開催だけに限らず、各学生が受講できるように申し込み方法や開催スケジュールが分かる情報を発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校事業計画 ・事業実施計画 ・学生便覧 ・みちしるべ(シラバス) ・プレスクール会議資料、 ・プレスクール資料 ・里帰り会議資料 ・里帰り資料 ・学校ホームページ ・那覇看便り ・学校パンフレット ・福祉住環境コーディネーター資料 ・放送大学募集要項
---	---	----------	---	--	--	---

<p>1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</p>	<p>①中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか ②学校の将来構想を教職員に周知しているか ③学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか</p>	<p>4</p>	<p>①②中期的視点で学校の将来構想を定めカリキュラム開発委員会及び「学校の将来を考える会」を設置し、教職員の周知を図っている。 ③社会のニーズを踏まえた将来構想に関連する情報や新カリキュラム改正が行われることを見据え、授業や実習等で学生へ伝えている。また、保護者へは後援会や学校便り等で今後の方向性について伝えている。実習施設へは、ユニフケーション会議にて、教育現場の状況、臨床現場の状況や意見・情報交換を行い周知を図っている。ユニフケーション会議については、オンラインを取り入れ情報交換を図り今後の方向性等を検討できる場を整えている。</p>			<p>学校の将来を考える検討会議事録 カリキュラム開発会議事録 ユニフケーション会議議事録 学生便覧 みちしるべ(シラバス) 学校案内パンフレット 臨地実習要項 臨地実習概要 学校ホームページ 那覇看便り 遠隔授業プロジェクトチーム会議録</p>
--------------------------------------	--	----------	--	--	--	---

<p>中項目総括</p>	<p>特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）</p>
<p>教育理念を実現するために、教育目的・目標を基盤に、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを明確化し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の領域ごとにシラバスに掲げ教育計画を立案・明確化した。 社会のニーズを踏まえた将来構想に関連する情報や新カリキュラムの趣旨、業界で求められる人材や能力について検討を重ね、新カリキュラムの教育内容として構築することができた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に、オンライン授業の導入に伴い遠隔授業プロジェクトチームを立ち上げ、遠隔授業に必要な知識及び設備整備などを行っている。遠隔授業プロジェクトからICT教育プロジェクトチームと改名し情報通信技術を活用して学校運営が行えるようにしている。 更に、学生の学びを止めないために「新たな学校生活のためのガイドブック」「臨地実習における感染症対策ガイドライン」を作成し学生や教職員、実習施設の方々等が共通理解できるようにした。</p>

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>従来の教育理念として掲げてきた「看護実践者」の育成について新カリキュラムにおいて「自律した看護師」の育成をしていくという事を明確化した。学校の運営方針は『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。重点目標・事業計画を提示し、前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を行っている。『魅力ある選ばれる学校』となるよう、積極的に情報発信し、透明性・客観性を確保し学校の質保障・向上を図っていく。</p> <p>本校は、教職員会議の場が意思決定の場であり、会議規程を定め、定例会議等を開催し、議事録は開催ごとに作成している。規則・規程等の改正が必要であれば 管理者会議を経て学校運営委員会等で審議し改正していく。教職員の研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。また、人材確保については、ホームページやナースセンター及びハローワーク等で採用広報を行っている。</p> <p>令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策に伴い、学生の学びを止めないための方策として「新たな学校生活のためのガイドブック」「臨地実習における感染症対策ガイドライン」を作成し学生や教職員、実習施設の方々等が共通理解できるようにした。</p> <p>更に、プロジェクトチームを立ち上げ、分散登校や遠隔授業（オンライン授業）と対面授業ができる環境を整えサポート体制の強化、PC などのアップデートに取り組んだ。学生の主体的な学習活動を支援、タイムリーな情報提供を行い、トラブル発生が無いよう、今後も体制を整え取り組んでいく。</p>	<p>安定した対面授業や遠隔授業が行えるような体制づくりと環境整備を今後も継続して行う</p> <p>通信技術を安全に取り扱うための知識や態度を養うための情報リテラシーについてさらに強化していく必要がある。</p> <p>電子テキストを採用するにあたり、学内の通信環境の強化、サポート体制の強化 PC 等のアップデートを今後も継続して行う</p> <p>機材・環境を整えることが困難な学生に対する対応についての取り組み 例) 機材の貸出、環境が不具合の時の対応など</p> <p>PC サポート体制を強化していく予定。</p>	<p>学務システムを取り入れ教務事務による効率的な運用ができています。</p> <p>情報管理システムを構築し、学生へもタイムリーな情報提供ができるよう環境整備をしている。</p> <p>コロナ禍において学生の学びを止めないための取り組みとして「新たな学校生活のためのガイドブック」「臨地実習における感染症対策ガイドライン」を作成し学生や教職員、実習施設の方々等が共通理解できるようにした。</p> <p>更に、分散登校による対面授業とオンラインによる遠隔授業を組み入れた授業展開方法を行っている。</p> <p>学生への情報発信をリアルタイムに実施できるよう、セキュリティ面を考慮し安全かつ迅速に情報を発信・共有するツールとして GoogleworkSpace(旧 Gsuit)を導入し、円滑に学校運営を行っている。</p> <p>2022 年度は新カリキュラム対応の学生と、現行カリキュラムの学生が学ぶ状況となる。更に本校創立 50 周年記念の節目の年を迎えるため、重点事業計画に取り入れていく。</p>

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	①運営方針を文書化するなど明確に定めているか ②運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか ③運営方針を教職員等に周知しているか ④運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	①②③④学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。年度初めに重点目標・事業計画を提示し周知している。前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を教職員会議で行っている。			学校事業計画 学校組織図 会議計画 職員会議録 教員会議録 カリキュラム開発会議録・資料 学生便覧 みちしるべ(シラバス) 臨地実習要項 自己評価報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
従来の教育理念として掲げてきた「看護実践者」の育成について教育評価を行い新カリキュラムにおいて「自律した看護師」の育成をしていく事を明確化した。学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。年度初めに重点目標・事業計画を提示し周知している。前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を教職員会議で行っている。	

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか。	①中期計画（3～5年程度）を定めているか ②単年度の事業計画を定めているか ③事業計画に予算、事業目標等を明示しているか ④事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか ⑤事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4	①管理運営・人事管理等に関する中期計画を定めている。 ②③④⑤単年度の事業計画を定め明業務分担等について明文化している。職員会議計画の中で半期毎に評価の時期・内容を明示している。			学校事業計画 学校業務図 会議計画 職員会議録 教員会議録 カリキュラム開発 会議録・資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>実践的な職業教育をめざし積極的に情報発信をしていくことで、透明性・客観性を確保し学校の質保障・向上を図っていく。</p> <p>事業計画は毎年策定し、その事業計画に沿って教育計画を実施している。</p> <p>2022年度は新カリキュラム対応の学生と、現行カリキュラムの学生が学ぶ状況となる。更に本校創立50周年記念の節目の年を迎えるため、重点事業計画に取り組んでいく。</p>	

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	①理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか ②理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか ③寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	①②③一般社団法人那覇市医師会組織の目的に則り毎月定例会議2回、評議委員会1回開催し、審議事項について議事録を作成している。寄附行為については必要に応じて適正な手続きを経て改正している。			法人組織図 理事会総会議案書 事業計画 会議議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	①学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか ②現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか ③各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか ④会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか ⑤会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか ⑥組織運営のための規則・規程等を整備しているか ⑦規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	①②③那覇市医師会那覇看護専門学校組織図を整備し体系化した組織規程、役割分担等を明確にしている。 ④⑤⑥⑦職員会議の場が意思決定の場であることを明確にし、会議規程を定め議事録は開催ごとに作成している。規則・規程等の改正が必要であれば適正な手続き（管理者会議）を経て改正していく。			学校事業計画 学校組織図 会議規程 会議計画 管理者会議録 職員会議録 教員会議録 カリキュラム開発 会議録・資料 各委員会議事録 業務分掌

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	⑧学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	3	⑧事務職員の研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。また、定期的な職員面談を行い目標管理に基づく目標面接を年2回（中間面接・年度末面接）行い、資質向上に向け各自が計画立案した研修計画を基にキャリア支援を行っている。 新カリキュラムの運営上、新たな業務内容により、新旧の事務業務の整理と役割分担を整備する必要がある。	⑧業務分担の整備	⑧業務分掌に業務内容や役割の明確化をしていく	学校組織図 目標管理シート 面接記録 研修申請書および報告書 業務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>職員会議の場が意思決定の場であることを明確にし、一般社団法人那覇市医師会組織の目的に則り、那覇市医師会那覇看護専門学校組織図を整備・体系化した組織規程、役割分担等を明確にしている。会議規程を定め、定例会議を開催し、議事録は開催ごとに作成している。</p> <p>規則・規程等の改正が必要であれば適正な手続き(管理者会議)を経て改正していく。教職員研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。更に組織運営に携わる事務職員の意欲向上のためにも業務分掌にて、業務内容や役割分担を明確化していく事が次年度の課題である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事務局との連携にてPCR陽性者や濃厚接触者の就業規則の柔軟な対応策を提示し活用できるようにしている。</p>

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	①採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか ②適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか ③給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか ④昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか ⑤人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	①採用基準、採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用している。 ②法定通りの人材数は確保されているが、より充実した必要な人材数の確保をめざし、ホームページやナースセンター及びハローワーク等で採用広報を行っている。 ③④基準・規程等を整備・明確化し適切に運用している。 ⑤法人として規程等で明文化し、適切に運用している。			就業規則 給与規程 人事考課規程 学校事業計画 学校組織図 キャリアラダー表 目標管理シート 面接記録 年休簿 時間外管理簿 学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法人の目的に則り、採用基準、採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用している。人材確保については、ホームページやナースセンター及びハローワーク等で採用広報を行っている。採用基準・規程等を整備・明確化し適切に運用している。	

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	①教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか ②意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか ③意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	①②③法人の組織の目的・事業計画の中で、組織図を明確化し、職員の職責・業務分掌等において意思決定システムを明確化している。			法人理事会総会資料 法人理事会総会議事録 学納金管理簿 国・県補助金申請 学校運営委員会議事録 予算書・決算書 管理者会議録 就業規則 給与規程 職員会議 定例会議 教員会議 業務委員会

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職員会議が意思決定の場であることを周知しているため、法人の組織の目的・事業計画の中で、組織図を示し、職員の職責・業務分掌等において意思決定システムを明確化し制度化されている。	

2-7 情報システム						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<p>①学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか</p> <p>②情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか</p> <p>③学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか</p> <p>④データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか</p> <p>⑤システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか</p>	3	<p>①②③④⑤教務事務の役割を明確化し、学生の情報管理システムを構築し、一元管理している。また、タイムリーな情報提供を行い、計画的に、メンテナンスおよびセキュリティー管理を適切に行っている。</p> <p>②ICT 活用に向けた遠隔授業開発プロジェクトチーム（ICT 教育プロジェクトチーム）を立ち上げタイムリーな情報共有に向けて取り組みを行っている</p> <p>③Google workspace(旧 G Suite)採用し定着しているオンライン授業出席確認方法や受講態度を明文化して周知を図ることでチャット入力定着でき、情報システムへの移行スピードが速くなってきている。</p> <p>④⑤様々なトラブルに対応できるようなサポート体制を強化していく必要がある。</p>	⑤様々なトラブルに対応できるようなサポート体制が必要	⑤PC サポート体制を強化できる仕組みを整える。	<p>バックアップシステム</p> <p>サーバー（学内・医師会事務局）</p> <p>学籍管理パソコン管理</p> <p>契約管理会社</p> <p>個人情報保護規定</p> <p>就業規則</p> <p>情報取り扱い管理規程</p> <p>ICT教育プロジェクトチーム会議録</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の主体的な学習活動を支援、業務の効率化を図るためにも、教務事務の役割を明確化し、学生の情報管理システムを構築、タイムリーな情報提供を行い、トラブル発生が無いよう、計画的にメンテナンスおよびセキュリティー管理を適切な運営ができるよう整えていく。更に今後は様々なトラブルに対応できるようなサポート体制を強化できる仕組みを整えて行く必要がある。</p>	

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程の編成方針、実施方針、職業教育に関する方針を明確に定め明文化している。又、教育到達レベルも明示しており、理念に適合している。</p> <p>看護師免許取得の意義を伝え、1年次から3年計画のもと国家試験の支援体制を整えている。</p> <p>教育課程についてはみちしるべ（シラバス）で明確にし、講義、演習、校内実習においては協同学習やシミュレーション、校内実習にはティーチングアシスタント(TA)の教育参加を行うなど工夫している。今年度は新型コロナウイルス感染症の急拡大のため、校内実習におけるTA参加を中止したが、動画を作成しオンラインによる授業方法など工夫して行った。教育課程評価については、在校生による評価を行い課題については改善策を講じて取り組んでいる。キャリア教育評価として卒業生が来校した時に意見聴取を行ってはいるが、計画的な評価には至っていないため、今後は評価時期や評価方法を明確化していくことが必要である。</p> <p>成績評価の基準について学則（学生便覧）に規定し、かつ学生に明示している。又、入学前の履修、他の教育機関の履修について学則に明記しており、単位認定会議にて適切に運用している</p> <p>看護師資格取得の意義、目標、取得までの取り組み内容を明確にし、資格取得に向けて国試対策ゼミや、業者模擬試験等計画的に実施し、指導体制についてもチューター制を取り入れ指導体制を整えている。</p> <p>看護師国試不合格者に対して、在校生同様に模擬試験を受けさせるなど学習応援プロジェクトが積極的に連携し指導体制を整えている。</p>	<p>キャリア教育評価として卒業生の実態把握を行うために評価時期や評価方法等を経年的に立案していく。</p>	

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教員の確保については、指定規則に沿った人材を採用し、専任教員養成講習会を受講させている。</p> <p>教員の組織体制は指定規則に則り採用計画、配置計画を定めており、指定規則内の人員数は満たされているが、領域によって教員の人材確保が困難な状況が課題であり、継続的に募集をかけていく必要がある。</p> <p>教員の資質向上への取り組みについては、年度初めに年間の研修計画を立て、県内・外の学会、研修に積極的に参加し、終了後は、報告書を提出している。</p> <p>領域間、または領域を超えて連携・協力体制を構築している。加えて、授業内容、教育方法について、定期的に、カリキュラム開発会議で協議し、取り組んでいる。</p>	<p>指定規則内の人員数は満たされているが、領域によって教員の人材確保が困難な状況があり、継続的に募集をかけていく。</p>	

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	①教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか ②職業教育に関する方針を定めているか	4	①②教育課程の編成方針、実施方針、職業教育に関する方針を明確に定め文書化している。			みちしるべ（シラバス） 学生便覧 実習要項 ステップアップスケール 学校案内 カリキュラム検討委員会資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	①学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか ②教育到達レベルは、理念等に適合しているか ③資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか ④資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	①②目標とする教育到達レベルは明示しており理念に適合している。 ③看護師免許の取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしている。 ④看護師免許取得に向けて看護師国家試験の支援体制を整えている。			みちしるべ（シラバス） 学生便覧 実習要項 学校案内 カリキュラム検討委員会資料 技術経験録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程の編成方針、実施方針、職業教育に関する方針を明確に定め明文化している。又、教育到達レベルも明示しており、理念に適合している。</p> <p>看護師免許取得の意義を伝え、1年次から3年計画のもと国家試験の支援体制を整えている。</p>	

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	①教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか ②議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか ③授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか ④授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか ⑤修了に係る授業時数、単位数を明示しているか ⑥授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか ⑦授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか ⑧授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか ⑨職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	①教育課程を規程で明確にしている。 ②各領域の会議録に残し、全体共通認識の会議でも明文化している。 ③④規程に沿って適切な配分がなされている。また、毎年見直しをしている。 ④学生便覧に明示している。 ⑤⑥⑦⑧すべての科目において目標を定め、講義・演習・実習を行っている。 ⑦⑧⑨協同学習やシミュレーション、校内実習においてはティーチングアシスタント(TA)の教育参加を取り入れ、直接指導やリフレクションを行い、次回の実習指導の改善に役立てている。また、その時の状況に合わせた授業形態としてオンライン授業を取り入れ工夫している。			学生便覧 みちしるべ(シラバス) 学年歴 学校案内 ホームページ ユニフィケーション会議録 臨地実習要項 専任教員再教育研修集録 オンライン授業の指導案

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<p>①職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか</p> <p>②単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか</p> <p>③授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか</p> <p>④教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか</p>	4	<p>①各領域に関連した研修を積極的に受講している。又、シミュレーションや協同学習等取り入れるなどの工夫をしている。</p> <p>②学生便覧に履修条件と明記している。入学時のオリエンテーションで、単位制について説明している。</p> <p>③④毎年見直し、改定を行っている。</p>			<p>学生便覧 みちしるべ（シラバス） 学年歴 学校案内 ホームページ ユニフィケーション 会議録 臨地実習要項 専任教員再教育研修 集録</p>
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<p>①教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>②教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>③職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか</p>	4	<p>①在校生や卒業生の評価を行い、課題については改善策を講じて取り組んでいる。</p> <p>②③TA（ティーチングアシスタント）や学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の評価を行っている。</p>			<p>学生便覧 シラバス 学年歴 学校案内 ホームページ ユニフィケーション 会議録 臨地実習要項 専任教員再教育研修 集録 教員会議録</p>

3-9-3 キャリア教育を実施しているか	①キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか ②キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4	①キャリア教育については事業計画で明記している。在学中の経験記録をポートフォリオとして整理し、キャリアデザインの講話やストレスマネジメントの講演を行っている。 ②年度初めに学年ごとの目的目標を作成し、学生へ提示している。 更に、各学年の年度末には「看護師としての社会人基礎力評価」を行っている。			<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧 ・みちしるべ（シラバス） ・各学年目的目標表 ・看護師としての社会人基礎力評価表
----------------------	--	---	---	--	--	---

3-9 (3/3)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	③キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	③卒業生が来校した時にキャリア教育評価として意見聴取を行っているが、計画的な評価には至っていない。更に就職先等の意見聴取や評価についても計画的な評価には至っていないため、今後は評価時期や評価方法等を明確化していくことが必要である。	③卒業生・就職先等の意見聴取や評価計画・評価方法を明確化していくことが必要。	③卒業生・就職先等の意見聴取や評価計画・評価方法を企画する。	

3-9-4 授業評価を実施しているか	①授業評価を実施する体制を整備しているか ②学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか ③授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか ④教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4	①②③④全てにおいて実施している。 臨地実習については、常に実習指導者、教員、学生の3者の評価を実施している。 ③実習指導者が評価（ルーブリック）しやすいよう修正案を出せるようにアンケートを実施している。 ③授業評価は全教員が実施する体制を整えている。そして、年度末の教職員会議にてフィードバックし、評価結果を各教員が授業改善に活用している。			学生便覧 シラバス 教員会議録 評価会議録 授業評価結果表 ルーブリック評価表
--------------------	--	---	--	--	--	--

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程を規定で明確にしており、会議で全体の共通認識をして、議事録にも残している。又、学生便覧にも明示している。</p> <p>講義、演習、校内実習においては協同学習やシミュレーション、校内実習にはティーチングアシスタント(TA)の教育参加を行うなど工夫している。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の急拡大のため、校内実習におけるTA参加を中止したが、動画を作成しオンラインによる授業方法など工夫して行った。</p> <p>教育課程については、在校生による評価を行い課題については改善策を講じて取り組んでいる。キャリア教育評価として卒業生が来校した時に意見聴取を行ってはいるが、計画的な評価には至っていないため、今後は評価時期や評価方法等を明確化していくことが必要である。</p>	<p>キャリア教育については、事業計画で明記しており、在学中の経験記録をポートフォリオとして整理し、キャリアデザインの講話やストレスマネジメントの講演などを行っている。</p>

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	①成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか ②成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか ③入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4	①学生便覧に規定し、かつ明示している。 ②前期、後期と単位認定会議を実施している。 ③入学前の履修、他の教育機関の履修について学則に明記しており、認定会議にて適切に運用している。			学生便覧 シラバス 単位認定会議録 定例会議録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準について学則（学生便覧）に規定し、かつ学生に明示している。又、入学前の履修、他の教育機関の履修について学則に明記しており、単位認定会議にて適切に運用している。	

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	①取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか ②資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	① 明確にしている ② カリキュラムに組み入れている。講義や卒業生の特別講義等実施している。			学生便覧 シラバス 国家試験委員会議 録 国家試験対策計画 表 時間割表
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	①資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか ②不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	①資格取得に向けて国試対策ゼミや、業者模擬試験等計画的に実施し、指導体制についてもチューター制を取り入れ指導体制を整えている。 ②看護師国試不合格者に対して、在校生同様に模擬試験を受けさせるなど学習応援プロジェクトが積極的に連携し指導体制を整えている。			学生便覧 シラバス 学習応援プロジェクト会議録 国家試験対策計画 表 時間割表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>看護師資格取得の意義、目標、取得までの取り組み内容を明確にし、資格取得に向けて国試対策ゼミや、業者模擬試験等計画的に実施し、指導体制についてもチューター制を取り入れ指導体制を整えている。</p> <p>看護師国試不合格者に対して、在校生同様に模擬試験を受けさせるなど学習応援プロジェクトが積極的に連携し指導体制を整えている。</p>	

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<p>①授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか</p> <p>②授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか</p> <p>③教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか</p> <p>④教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか</p> <p>⑤教員の採用計画・配置計画を定めているか</p> <p>⑥専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか</p> <p>⑦教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか</p> <p>⑧教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか</p>	4	<p>①専任教員キャリア別達成目標（ラダー）を明確化している。8月に中間評価、3月に年度末評価面接を実施した。</p> <p>②専任教員養成講習会を受講させている。</p> <p>③教員は必要な知識・技術・技能に関する研修を積極的に受講し努力している。</p> <p>④看護協会のナースセンターを活用している。</p> <p>⑤指定規則に則り採用計画、配置計画を定めており、規程内の人員は満たされているが、領域によって教員の人材確保が困難な状況があり、継続的に募集をかけていくことが必要である。</p> <p>⑥ホームページに掲載している。</p> <p>⑦就業規則・規定で明確に定めている。</p> <p>⑧毎年教員一人当たりの授業時間数、学生数を表で明確に把握している。</p>	<p>④⑤領域によって教員の人材確保が困難な状況があり、継続的に募集をかけていくことが必要である。</p>	<p>④⑤ホームページや看護協会のナースセンターへ継続的に募集をかけていく。</p>	<p>専任教員キャリア別達成目標（ラダー）</p> <p>学則</p> <p>14条報告</p> <p>業務委員会議事録</p> <p>理事会議事録</p> <p>就業規則</p> <p>時間割り</p> <p>授業計画・実績報告</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<p>①教員の専門性、教授力を把握・評価しているか</p> <p>②教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか</p> <p>③関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか</p> <p>④教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか</p>	4	<p>①専門性、教授力についてキャリアラダーを指標に自己の課題を明確にして取り組み努力している。</p> <p>②年度初めに個人で年間研修計画を管理者に提出し、研修終了後は報告書を作成し提出している。教員再教育研修で発表している。</p> <p>④研究費を予算計上し研究活動を支援している。また、学校長によるスーパーバイザーの支援もある。</p> <p>④実習施設等の研修発表会へ参加している。</p>			<p>専任教員キャリア別達成目標（ラダー）</p> <p>個人の研修年間計画表</p> <p>管理者会議録</p>

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	①分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか ②教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか ③学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか ④授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか ⑤専任・兼任(非常勤)教員間の連携・協力体制を構築しているか	4	①規定に沿って整備している。 ②規定で明確に定めている。 ③領域間で連携・協力体制を構築している。 ④定期的に会議やカリキュラム開発会議等で行っている。 ⑤全体会議、領域会議等で連携・協力体制を確認している。			専任教員キャリア別達成目標(ラダー) 学則 就業規則 管理者会議録 年間事業計画 業務分掌
中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)			
教員の確保については、指定規則に沿った人材を採用し、計画的に専任教員養成講習会を受講できるよう支援している。 教員の組織体制は規程に沿って整備している。 教員の資質向上への取り組みについては、年度初めに年間の研修計画を立て、研修に積極的に参加し、参加後は報告書を提出している。			領域間、又は領域を超えて連携・協力体制を構築している。加えて、授業内容、教育方法について、定期的に、カリキュラム開発会議で協議し取り組んでいる。			

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 就職率100%を目標に設定している。事務部で就職先を把握しデータ化している。更に県内の実習病院を主にした就職説明会を毎年1回、校内で実施し就職活動の一環となるように開催している。</p> <p>資格・免許の取得率 看護師資格取得について、100%を目標設定し、1年生から模擬試験や国家試験対策ゼミを3年計画のもと実施している。 毎年、合格実績を学校案内に表示し、全国の合格率とともに比較している。 又、指導方法と結果を分析し指導方法を検討している。</p> <p>卒業生の社会的評価 卒後の実態を調査で把握することは十分にできていないため、今後は実態把握ができるよう具体的な計画を立案していくことが課題である。</p>	<p>卒業生の社会的評価について、卒後の実態を調査で把握することは十分にできていないため、今後は実態把握ができるよう継年的な計画を立案していく。</p>	

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	①就職率に関する目標設定はあるか ②学生の就職活動を把握しているか ③専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか ④関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか ⑤就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	①⑤就職率100%目標に設定している。県内外の就職先も把握してデータ化している。 ②③事務部が中心になり追跡調査を行っている。 ④就職セミナーは毎年1回県内の病院を招き校内で実施している。			学校案内 ホームページ 卒業生就職先一覧表 就職説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率100%を目標に設定し、事務部で就職先を把握しデータ化している。加えて、就職セミナーは毎年1回、県内の病院を招き、校内で実施している。	

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	①資格・免許取得率に関する目標設定はあるか ②特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか ③合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか ④指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	①看護師国家試験100%の目標を設定している。 ②1年生の時から3か年計画のもと国家試験対策ゼミや業者模擬試験を計画的に取り入れ学習支援を行っている。 ③毎年合格の実績を学校案内に表示し全国の合格率とも比較している。 ④指導方法と結果を分析し指導方法を検討している。			那覇看護専門学校事業計画 看護師国家試験結果一覧表 カリキュラム

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師資格取得について、100%を目標設定し、1年生から3か年計画のもと国家試験対策ゼミや業者模擬試験を計画的に取り入れ学習支援を行っている。毎年、合格実績を学校案内に表示し全国の合格率とも比較している。また、指導方法と結果を分析し指導方法を検討している。	

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	①卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか ②卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	3	①卒業生の卒後の実態を調査で把握することは十分にできていないため、今後は実態把握ができるよう具体的な計画を立案していくことが必要である。 ②卒業生の研究業績については学会発表等、学会誌で確認し把握するよう努めている。	①卒業生の卒後実態把握ができるよう具体的な計画を立案していくことが必要である。	①卒業後の卒後実態把握計画を継年的に計画を立案していく。	卒業生による特別講義ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の社会的評価について、卒後の実態を調査で把握することは十分にできていないため、今後は実態把握ができるよう具体的な計画を立案していくことが課題であり、今後は継年的に計画を立案していく。 卒業生の研究業績については、学会発表等、学会誌で確認し把握するよう努めている。	

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生への就職等に関しては、学年担当教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況は学内で共有している。学生の学業継続の相談に関しては、各学年チーム担当教員や教務部長が面談、必要時、学校長、保護者も交えて面談を実施している。また、心理カウンセラーの活用の促がしや、必要時、相談医を紹介している。</p> <p>学生の経済面に対する支援として、困窮している学生には各奨学金の紹介や、個別相談に応じている。大規模災害時及び家計急変時等に対する支援制度は整備している。</p> <p>学生の健康管理では、学校健康診断、抗体価検査、予防接種計画を定め、年1回の学校健診を行い2次検診が必要な学生には随時指導を行っている。健康面で問題がある場合には、担当教員との連携を行って支援している。課外活動の支援は、サークル担当窓口の教員を配置し予算やサークル活動についての相談を行っている。</p> <p>保護者に対して、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。また、学校HPや書面（公文書）で情報を発信している。</p> <p>卒業生の支援として、同窓会が結成されており計画的に総会や特別講演を開催している。卒後5ヶ月と1年目に「里帰り」を開催している。社会人経験者の入学に際し、入学前の履修科目に対して、学則に従って単位認定をしている。</p>		<p>学生の就職等進路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職・進学の情報提供や個別相談を行っている。 ・県外就職の卒業生に対し、就職先訪問を実施。 ・就職試験や履歴書・小論文の書き方、面接時マナー等の支援を行っている。 <p>学生相談の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の教員が相談窓口として学生を支援している。 ・学生が相談しやすいように男性・女性のカウンセラーを配置している。また、専門医による治療が必要な学生に対しては、相談医リストを提示し、受診できる支援体制を整えている。 <p>学生生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援制度の情報提供を十分行っている。日本学生支援機構・沖縄県看護師等奨学資金教育訓練給付制度・専修学校奨学金給付事業他 ・学生の健康管理に関して、「わたしの健康ノート」を活用し、学校健診、抗体価検査、ワクチン接種状況が管理できるよう指導している。 ・「新たな学校生活のためのガイドブック」を作成し、新型コロナウイルス感染対策の教育を行っている。 <p>保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生会が発行している「那覇看だより」で学生生活の情報提供を行っている。また学校HPも随時更新し情報を発信している。 <p>卒業生・社会人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒後は、5ヶ月と1年目に「里帰り」を開催している。卒業後の研究活動の支援として図書館を開放し、個別での相談も行っている

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<p>①就職など進路支援のための組織体制を整備しているか</p> <p>②担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか</p> <p>③学生の就職活動の状況を学内で共有しているか</p> <p>④関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか</p> <p>⑤就職説明会等を開催しているか</p> <p>⑥履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか</p> <p>⑦就職に関する個別の相談に適切に応じているか</p>	4	<p>①②③学生支援としての進路・就職に関する支援体制は整備されており、事務職員は就職・進学情報、奨学資金等の相談窓口となり、個別相談が行える体制を整えている。</p> <p>④⑤⑥ハローワークや就職支援業者等と連携し、就職試験や履歴書・小論文の書き方、面接時マナー等の講話を行い支援体制は整えている。1年次より段階的に就職支援のセミナーを計画しており、今年度はオンラインで開催している。就職説明会は、新型コロナウイルス感染対策を行い開催している。</p> <p>⑦各学生担当教員は、学年チームと連携を取り学生個々の相談支援体制を整えている。</p>			<p>学生進路一覧</p> <p>就職説明会資料</p> <p>小論文特別講義資料</p> <p>就職支援業者の資料</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学年担当教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況は学内で共有している。1年次より段階的に就職支援のセミナーを計画し、今年度はコロナ禍の影響からオンラインで開催している。4月に3年生対象に就職説明会を開催している。その際、1, 2年生も参加できるようにしている。</p> <p>3年生には面接の受け方をはじめ具体的な就職指導をしており、就職に関する個別の相談に適切に応じている。また履歴書、エントリーシートの書き方は学年担当教員が個別に指導しており、小論文は4～5月頃に外来講師に依頼して特別講義を行っている。</p>	<p>就職・進学の情報提供や個別相談を行っている。</p> <p>県外就職の卒業生に対し、就職先訪問を予定していたが、コロナ禍の影響で中止している</p> <p>就職試験や履歴書・小論文の書き方、面接時マナー等の支援を行っている。</p> <p>1年次より段階的に就職支援のセミナーを計画し開催している。</p>

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	①中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか ②指導経過記録を適切に保存しているか ③中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか ④退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	①各学年担当教員や教務部長が個人面接を行い退学理由を明確にしている ②面接時の内容は記録し保存している。 ③教職員全体で情報の共有を行い、連携体制を図っている。 ④悩んでいる学生に関しては男女の心理カウンセラーの活用を促しを行っている。学習面に関しては各学年担当教員との面談を通して支援をしている。			学生進路一覧 在校生の動向 退学理由書 個人面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。退学までには、各学年担当教員や教務部長また学校長、保護者も交えて面談を実施しており、面接記録は保管している。休学や退学を決定するまでの悩んでいる期間に、教員の関わりや心理カウンセラーの活用がしや、必要時、相談医を紹介している。個々に合わせて、きめ細かに対応している。	学生の生活・学習状況の変化をキャッチし、学業継続ができるよう心のケア（メンタルヘルスケア）を支援できるように、各学生担当教員は定期的に個人面談を行っている。

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	①専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか ②相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか ③学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか ④相談記録を適切に保存しているか ⑤関連医療機関等との連携はあるか	4	①専任カウンセラーが配置され、入学時に学生全員へ紹介と心理テストを実施している。 ②③学生相談室の設置を行いカウンセラーが来校する日時を学内の掲示板と Google classroom 配信にて案内している。またメールでの相談も行っている。(男性・女性のカウンセラーを配置している) ④相談記録は専任カウンセラーにて保存されている。 ⑤相談医とし医療機関と連携を図り、必要時受診を薦めている。			学生便覧 学生相談室便り 個人面談記録 わたしの健康ノート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談に関する体制の整備は行っている。メンタル面で指導が必要な場合には、心理カウンセラー（男性・女性）の活用及び、治療が必要な学生に対しては、心療内科医との連携を取り「相談医」の紹介・活用ができる体制を整えている。また、個人指導に関しては、個人指導記録に記載保管している。	男性、女性の心理カウンセラーを配置し、来校相談予定日表を学生相談室便りとして掲示及び Google classroom 配信し、いつでも相談できる体制を整えている。また、専門医による治療が必要な学生に対しては、相談医リストを提示し受診できる支援体制を整えている。「わたしの健康ノート」に相談医の紹介を載せている。

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<p>①学費の減免、分割納付制度を整備しているか</p> <p>②大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか</p> <p>③全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか</p> <p>④公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか</p> <p>⑤全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか</p>	4	<p>①文部科学省の修学支援新制度（授業料の減免）の対象校となった。（在校生へ周知し、希望者へは申込を済ませている。令和2年度より開始された。）</p> <p>②大規模災害発生時における家計急変に対応する制度は整備されている。日本学生支援機構の緊急応急制度</p> <p>③④経済的支援制度の情報提供は十分に行っており、随時相談できる窓口を設定し、掲示板で案内もしている。</p> <p>⑤支援制度の利用について実績を把握している。</p> <p>日本学生支援機構 沖縄県看護師等修学資金教育訓練給付制度 専修学校奨学金給付事業 他 那覇市医師会奨学金 （3年8名、2年2名） 12月に文部科学省より学生への緊急給付金の案内があり、推薦枠30名を申請した。</p>			<p>学生便覧</p> <p>日本学生支援機構「奨学金を希望する皆さんへ」 学生募集要項 奨学金一覧表（ガイダンス用）</p> <p>那覇市医師会奨学金 緊急給付金（文部省）</p>

<p>5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか</p>	<p>①学校保健計画を定めているか ②学校医を選任しているか ③保健室を整備し専門職員を配置しているか ④定期健康診断を実施して記録を保存しているか ⑤有所見者の再健診について適切に対応しているか ⑥健康に関する啓発及び教育を行っているか</p>	<p>4</p>	<p>①学校健康診断、抗体価検査、予防接種計画を定めている ②学校医および相談医を選任している。 ③保健室は整備しているが、専門職員の配置はないため、保健委員の担当看護教員で対応している。保健委員が不在な場合は他の看護教員が対応している ④定期健康診断の記録は本人と学校で保管している ⑤有所見者への対応は、保健委員の教員が全学年を把握し、各学年担当教員へフォローの依頼をおこなっている ⑥入学時に全学生へ「わたしの健康ノート」を配布・説明を実施し健康管理を意識付けている。ガイドブックを作成し、新型コロナウイルス感染対策の教育を行っている。</p>			<p>学生便覧 保健室利用内規 保健室利用カード わたしの健康ノート 教育事業計画書 学生の健診結果 予防接種及び抗体価各学年年間スケジュール 新たな学校生活のためのガイドブック 健康観察及び行動履歴記録</p>
------------------------------------	--	----------	--	--	--	--

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	⑦心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか ⑧近隣の医療機関との連携はあるか	4	⑦⑧「心の相談窓口」を毎月1回、外部の心理カウンセラーを招いて対応している。必要時、医療機関に繋がっている			
5-19-3 課外活動に対する支援体制を整備しているか	①クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか ②大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか ③大会成績など実績を把握しているか	4	①教員が顧問となり、サークル活動等の団体の活動状況を把握している。コロナ禍の影響でサークル活動を自粛している。 ②サークル活動状況や予算書の提出後、学生会や学校長の審査の後、サークル活動費が支給される			学生便覧 学生会会則 学生等団体活動状況報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の経済的支援に関しては、学生全体に各奨学金等の制度を周知し、また個別相談にも対応している。常に最新の情報を得るため各奨学金等の研修会等へ参加しその対策を講じている。</p> <p>学生の健康管理では、学校健康診断、抗体価検査、予防接種計画を定め、年1回の学校健診を行い2次検診が必要な学生には随時指導を行っている。2次検診後、結果を学校に報告してもらい健康面で問題がある場合には、担当教員との連携を行って支援している。抗体価検査や予防接種の記録は、「わたしの健康ノート」で自己管理できるよう指導している。学校でも検査結果や接種記録を保管し、臨地実習へのスムーズな受け入れ態勢を整えている。ガイドブックを作成し、新型コロナウイルス感染対策の教育を行っている。課外活動の支援は、サークル担当窓口の教員を配置し予算やサークル活動に関する相談を行っている。</p>	<p>学校生活で自分の健康を自己管理できるように、「わたしの健康ノート」を配布し、学校健診、抗体価検査、ワクチン接種状況、精神的ストレスなど把握できるように活用を促している。「新たな学校生活のためのガイドブック」を作成し、新型コロナウイルス感染対策の教育を行っている。</p>

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	①保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか ②学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか ③緊急時の連絡体制を確保しているか	4	①②保護者に対して、入学式後に学校説明会を開催し、本校の教育理念・目的・目標及び教育課程内容の説明を行っている。また、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。学生会が発行している「那覇看だより」や学校ホームページで学生生活の情報提供を行っている。 ②学力不足、心理面等の問題がある場合は、必要に応じて保護者と面談し連携している。 ③クラス連絡網の作成、Google classroom を活用し緊急時G スイートを活用し伝達できる連絡体制を整えている			学生便覧 みちしるべ（シラバス） ホームページ 後援会役員会資料・会議録 後援会総会資料 緊急連絡網 Google classroom 教員緊急連絡網一覧表 那覇看だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者に対して、入学式後に学校説明会を開催し、本校の教育理念・目的・目標及び教育課程内容の説明を行っている。また、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。学力不足、心理面等の問題がある場合は、必要に応じて保護者と面談し連携している。 緊急時の連絡網の作成、Google classroom を活用した体制は確保されている	学生会が発行している「那覇看だより」で学生生活の情報提供を行っている。学校ホームページも随時更新し情報を発信している。Google classroom を活用した連絡体制は確保されている。

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	①同窓会を組織し、活動状況を把握しているか ②再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか ③卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか ④卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4	①卒業生をもって組織化されており、学校行事などに同窓会会員として活動を行っている。 ②キャリアアップに関して、進学した卒業生と交流を企画している。再就職に対し相談にきた卒業生には、教職員が対応している。 ③卒業5か月と1年目を対象に里帰りを企画している。今年度はコロナ禍の影響からオンラインで開催し交流等を行っている。 ④卒業後の研究活動の支援として図書館を開放し、個別相談も行っている。			同窓会関連資料 学生便覧 卒業支援委員会資料 里帰り実施要項
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	①関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか ②学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	4	①臨床指導者講習会、看護教員養成講習会等に講師を派遣している。 ②学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っている			学生便覧 ユニフォーメーション会議録 臨床指導者講習会要綱 学会誌

<p>5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</p>	<p>①社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか ②社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか ③図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか ④社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか</p>	<p>4</p>	<p>①②入学前の履修科目に対して学則に従って単位認定をしており、学内諸規定にも休学・復学ついて定めている。 ③図書返却用BOX設置、教員の管理下での時間外実習室の使用体制を設けている。 ④学生個別の相談支援体制を整えている</p>			<p>学生便覧 単位認定会議</p>
--	---	----------	--	--	--	------------------------

5-21 (2/2)

<p>中項目総括</p>	<p>特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）</p>
<p>卒業生への支援として、同窓会が結成されており年に1回の総会や特別講演を開催している。キャリアアップに関して、進学した卒業生との交流の企画、再就職に対しては相談にきた卒業生には教員が対応している。卒後は、5ヶ月と1年目に「里帰り」を開催している。今年度はコロナ禍の影響からオンラインで実施し、交流等を行っている。卒業後の研究活動の支援として図書館を開放し、個別での相談も行っている</p> <p>実習施設等との連携として、臨床指導者講習会、看護教員養成講習会等の研修の講師を派遣している。学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っている。</p> <p>社会人入学生の入学前の履修科目に対して、学則に従って単位認定をしており、そのライフスタイルに合わせて学内施設を利用・相談ができるように体制を整えている。</p>	<p>卒後は、就職5ヶ月と1年目に「里帰り」を開催している。</p> <p>5ヶ月目は、初期の新人教育を修了し、独り立ちが求められることから、不安や焦燥感を抱き、仕事を継続できるか悩み落ち込むことが多くなります。やればできる自己肯定感を高める目的で行っている。</p> <p>1年目は、級友との語らいを通し、リフレッシュする機会にすることで自己の成長課題を明らかにすること、キャリア開発に向けて次のステップへ進む動機付けができることを目的に行っている</p>

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・整備等に関しては、看護師養成所の運営ガイドラインに基づき機械器具、標本、模型及び図書を十分に整備している。また、法定点検や日常点検を定期的に行い必要に応じて部品の取替や修繕を行っている。</p> <p>学外学習に関して、臨地実習について教育課程上の位置づけを明確にし、臨地実習要項を作成し適切に運用している。実習施設との臨地実習協議会を開催し、連携を密にしている。また年度末にはユニフィケーション会議を開催し協同学習や現場との意見交換を行っている。臨地実習の教育効果について、目標評価スケールステップアップスケールの活用で基礎的能力・成長過程の評価を確認している。</p> <p>入学式・宣誓式・卒業式やオープンキャンパス・学校祭等は、学生会を中心に委員会を設立し教職員と共に参画している。また、卒業生・保護者・実習施設等へ学校行事の案内を積極的に行っている。今年度はコロナ禍の影響により、オープンキャンパスはオンラインで開催し、学校祭はオンラインオープンキャンパスへ変更し行っている。また、卒業生・保護者・実習施設等へ学校行事の案内を行っている</p> <p>学校の防災・安全管理に関して、学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。施設・建物・設備の耐震化を確認している。消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応している。備品の転倒防止など安全管理している。学内における安全管理体制を整備し、適切に運用している。実習中の災害発生時の学生の安全確保について、マニュアルを作成し臨地実習要項に載せ、学生への説明、実習施設への説明を実施している。</p>		<p>模擬負傷者役を通して防災意識、安全教育 災害看護の演習の一環として、那覇空港航空機事故防災訓練及び那覇市防災訓練へ学生は模擬負傷者役で参加している。</p> <p>ステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価 臨地実習の教育効果については、各領域の目標評価スケール及びステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を確認している</p>

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	①施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか ②図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか ③図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか ④学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか ⑤施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか ⑥手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか ⑦卒業生に施設・設備を提供しているか ⑧施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか ⑨施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	①②③看護師養成所の運営ガイドラインに基づいて、機械器具・標本・模型及び図書は整備している。 ④多目的教室、ラウンジ、ロビーにて休憩・食事のためのスペースを整備している。 ⑤多目的トイレを設置し、施設の段差の改善を行い施設・整備のバリアフリー化に取り組んでいる。 ⑥各手洗い設備にポンプ式手指洗剤を設置している。各自の机・ロービー・ラウンジのテーブルには、パーテーション設置している。 ⑦卒業生は申請により図書室等の利用を許可している。 ⑧⑨施設・設備は、法定点検や日常点検を行い必要に応じて補修を行っている。中長期計画を作成し執行している。			学生便覧 中長期計画表 メンテナンス契約書 図書目録一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師養成所の運営ガイドラインに基づき機械器具、標本、模型及び図書を十分に整備している。多目的トイレを設置し、施設の段差の改善を行い施設・整備のバリアフリー化に取り組んでいる。施設設備についても法定点検や日常点検を定期的に行い必要に応じて部品の取替や修繕を行っている。衛生管理も徹底しており、各自の机・ロービー・ラウンジのテーブルにはパーテーション設置している。	基礎看護実習室の他にセルフスタディールームを設けており、個人またはグループで、いつでも看護技術のスキルを高め合うことができる。

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<p>①学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか</p> <p>②学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか</p> <p>③関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか</p> <p>④学外実習について、成績評価基準を明確にしているか</p> <p>⑤学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか</p> <p>⑥学外実習等の教育効果について確認しているか</p> <p>⑦学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか</p> <p>⑧卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか</p>	4	<p>①②臨地実習について教育課程上の位置づけを明確にし、実習要項を作成し各学年の学習レベルに対応できるよう適切に実施・運用している。</p> <p>③⑤実習前に実習施設との臨地実習協議会を開催し、実習期間中及び終了時には実習評価カンファレンスを行い、連携を密にしている。また年度末にはユニフィケーション会議を開催し協同学習や現場との意見交換を行っている。</p> <p>④臨地実習の教育効果については、各領域の目標評価スケール及びステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を行っている</p> <p>⑥実習等の教育効果として実習後レポート発表会を開催している。</p> <p>⑦学校行事等は学生会を中心に委員会を設立し教職員と共に参画している。今年度はコロナ禍の影響でオンラインにて行っている。</p> <p>⑧卒業生・保護者・関連業界等へ学校行事の案内を行っている</p>			<p>学生便覧</p> <p>みちしるべ(シラバス)</p> <p>臨地実習要項</p> <p>臨地実習概要</p> <p>実習協議会資料、議事録</p> <p>ユニフィケーション会議議事録</p> <p>学校ホームページ</p> <p>実習成績評価資料</p> <p>学校行事</p> <p>入学式</p> <p>宣誓式</p> <p>卒業式</p> <p>新入生歓迎スポーツ大会</p> <p>オープンキャンパス</p> <p>オープンキャンパス</p> <p>学校祭</p> <p>学生会各種委員会開催議事録</p> <p>解剖見学実習</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>臨地実習について教育課程上の位置づけを明確にし、実習要項を作成し各学年の学習レベルに対応できるよう適切に実施・運用している。</p> <p>実習施設との臨地実習協議会を開催し、実習期間中は学生の実践支援や実習評価について連携を密にしている。また年度末にはユニフィケーション会議を開催し現場との意見交換を行っている。</p> <p>臨地実習の教育効果については、ステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を確認し、各領域の目標達成度を評価している。</p> <p>入学式・宣誓式・卒業式やオープンキャンパス・学校祭等は学生会を中心に委員会を設立し教職員と共に参画している。今年度はコロナ禍の影響により、オープンキャンパスはオンラインで開催し、学校祭はオンラインオープンキャンパスへ変更し行っている。また、卒業生・保護者・実習施設等へ学校行事の案内を行っている</p>	<p>臨地実習の教育効果については、各領域の目標評価スケール及びステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を確認している</p>

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	①学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか ②施設・建物・設備の耐震化に対応しているか ③消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか ④防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか ⑤備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか ⑥教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	4	①学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している（施設設備点検年2回、防災計画書提出年1回、防災訓練年1回） ②施設・建物・設備の耐震化対応している。 ③消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応している ④防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存している ⑤備品の転倒防止など安全管理している ⑥教職員・学生に防災研修・教育を行っている 災害看護の演習として、那覇空港航空機事故防災訓練及び那覇市防災訓練へ学生模擬負傷者役で全学生が参加できる体制を整えている。今年度は、コロナ禍の影響により、中止となっている。 各フロアに避難経路の提示をしている。			学生便覧 危機管理マニュアル 消防用設備等点検計画、報告書 建築物等の定期点検

<p>6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>	<p>①学校安全計画を策定しているか ②学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか ③授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか</p>	<p>4</p>	<p>①施設設備担当が、上司の命をうけて、施設管理・備品管理を行っている。 ②学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、外来者の管理、記名と入館許可書着用をしている。学生と教職員は総合保障制度へ加入している。防犯カメラを設置している。 ③授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成している</p>			<p>学生便覧安全管理マニュアル 一般社団法人日本看護学校協議会共済会 外来者管理名簿 臨地実習概要 時間外は管理会社委託</p>
---	---	----------	---	--	--	---

6-24 (2/2)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
<p>6-24-2 続き</p>	<p>④薬品等の危険物の管理において、鍵のかかる戸棚に管理しているか。 ⑤担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか</p>		<p>④薬品等の危険物の管理において鍵のかかる戸棚に管理している。 ⑤学校外実習などの安全管理体制（担当教員の明確、規定、心得）明確にしている</p>			<p>緊急連絡網</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>防災・安全管理に関する組織体制は整備され適切運営されている。学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。施設・建物・設備の耐震化を確認している。消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応している。防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存している。備品の転倒防止など安全管理している。</p> <p>学内における安全管理体制を整備し、適切に運用している。学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、外来者の管理、記名と入館許可書着用をしている。</p> <p>学生と教職員は、総合補償制度（WiLL）へ加入している。また、実習室の薬品等の危険物の管理は鍵のかかる戸棚に管理している。</p> <p>実習中の災害発生時の学生の安全確保について、マニュアルを作成し臨地実習要項に載せ、学生への説明、実習施設への説明を実施している。</p> <p>学生の安全管理として、必要に応じて実習前の PCR 検査を実施している。</p>	<p>防災、安全管理に関して、感染対策を行いながら学内で防災訓練を実施している。</p> <p>学生の安全管理として、必要に応じて実習前の PCR 検査を実施している。</p>

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動に関しては、生徒向けのガイダンスや高校の進路指導教員に対する学校説明会の開催、保護者への学校説明会等、積極的に情報提供に取り組んでいる。また、パンフレットやホームページでの学校紹介にも力を入れている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりガイダンスが中止となった為学校紹介の機会が減少した。今後はオンラインを含めた新たな学校紹介方法を構築していくことが課題である。</p> <p>入学選考に関しては、入学選考基準や方法について入試規程に定め運用している。少子化の影響により受験者数が減少していく中、受験者数・辞退者数・受験倍率・合格率を管理し、どのように学生募集に活かしていくかが課題である。</p> <p>学納金に関しては、県内他校の水準を把握し、経費内容に対応して学納金を算定している。</p>	<p>合格率・辞退率などの現況を示すデータから数年分の分析を行い入学選考に活かしていく。指定校については分析データより検討していく。</p> <p>希望する高校と相談の上、各校個別のガイダンスの実施方法を構築する。</p>	<p>高校の教員に対する学校説明会を実施し、本校の教育の特徴等を説明している。</p> <p>入学希望者・保護者・高校の教員等一般向けの学校案内パンフレットを作成して広報活動に努めている。</p> <p>コロナ禍においてはオンラインオープンキャンパスを行い、学校の様子を学生会に協力の下開催することができた。</p> <p>オンラインオープンキャンパスへ参加された受験生の個別相談にも対応できるような企画を設けて実施した。</p>

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<p>①高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか</p> <p>②高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか</p> <p>③教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか</p>	3	<p>①県内で開催される進学説明会に参加している。また、高等学校からの要望に応じて独自の進学説明会を行っている。</p> <p>②高等学校の進路指導教諭を対象とした学校説明会を実施している。</p> <p>③毎年「学校案内」パンフレットを作成し配布している。また、保護者を対象とした「学校説明会」を開催し学校案内を行っているが、コロナ禍において、ガイダンスを希望する学校にはオンラインを利用した説明会もできるよう方法を検討していくことが必要である。</p>	<p>③ガイダンスを希望する学校にはオンラインを利用した説明会もできるよう方法を検討していくことが必要である。</p>	<p>③ガイダンスを希望する学校にはオンラインを利用した説明会もできるよう方法を企画していく。</p>	<p>学校案内パンフレット</p> <p>ホームページ</p> <p>学校説明会資料</p> <p>進学ガイダンス実績ブログ</p>

<p>7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか</p>	<p>①入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか ②専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか ③志願者等からの入学相談に適切に対応しているか ④学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか ⑤広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか ⑥体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか</p>	<p>4</p>	<p>①推薦入試、一般入試(前期)、一般入試(後期)の3回募集機会を設けており、それぞれ9月、10月、1月に願書の受付を行っている。 ②自主規制に即した時期に募集活動を行っている。 ③志願者等からの入学相談には丁寧に対応している。希望者へは随時学校見学会を実施している。また、メールでの相談窓口も開設している。 ④ホームページや学校案内パンフレットにおいて当校の特徴を掲載したページを設けている。また、特徴ある教育活動や学修成果について正確に分かりやすく紹介している。 ⑤ガイダンスで収集したアンケートや願書は専用の保管場所で管理し1年経過したものはシュレッダーで処分している。 ⑥オープンキャンパス・学校祭において体験入学のコーナーを設けている。また、希望者には随時学校見学会を行っている。学校紹介動画も作成しホームページで視聴できるようにした。</p>			<p>学生募集要項 学校案内 オープンキャンパス資料</p>
-------------------------------------	--	----------	---	--	--	--

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	⑦志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4	<p>⑦一般入試を前期と後期の2回の機会を設けている。その他にも推薦入試を設け、指定校推薦、一般推薦、社会人推薦の3つの推薦枠を設けている。さらに社会人推薦は自己推薦と施設長推薦のいずれかを選択することが可能となっている。</p> <p>高卒認定試験合格者については、資格審査を省き、出願書類で応募できるようにした。また、外国籍の方等、事前に資格審査が必要な方については、その手続き方法が分かり易いように募集要項の表現を修正した。</p>			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>県内のガイダンスへはほぼ全て参加している。また、高等学校からの要望を受けて独自の学校説明会も開催している。高等学校の進路指導教員を招いた学校説明会を開催し教育活動等の情報提供を行っている。入学希望者に向けて「学校案内」パンフレットを毎年作成している。ホームページ内に学校紹介ブログのコーナーを開設し、適時更新して学内の様子を伝えている。</p> <p>入学試験については3回の入学選抜試験を実施し機会を設けている。入学相談については電話やメールで対応しており、希望があれば学校見学会も行っている。広報活動や学生募集活動に関する情報管理は担当事務職員で管理している。</p>	

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考 基準を明確化し、 適切に運用して いるか	①入学選考基準、方法は、 規程等で明確に定めている か ②入学選考等は、規程等に 基づき適切に運用している か ③入学選考の公平性を確保 するための合否判定体制を 整備しているか	4	①入試規程で明確に定めて いる。 ②入試規程に基づき入学試 験計画や実施資料を作成し 運用している。 ③入学卒業等認定委員会に おいて試験の点数や面接に おける評価も点数化し公平 に採点できるようにしてい る。			募集要項 入試規程 入学試験計画・実施資料 入学卒業等認定委員会 資料
7-26-2 入学選考 に関する実績を 把握し、授業改善 等に活用してい るか	①学科毎の合格率・辞退率 などの現況を示すデータを 蓄積し、適切に管理してい るか ②学科毎の入学者の傾向に ついて把握し、授業方法の 検討など適切に対応してい るか ③学科別応募者数・入学者 数の予測数値を算出してい るか ④財務等の計画数値と応募 者数の予測値等との整合性 を図っているか	3	①受験者数・辞退者数・受 験倍率・合格率を管理して いるが、入学後に休学・退 学する学生の動向をみて、 全体の把握と授業方法など について検討していく事が 必要である。 ②入学後、「看護師として 必要な基礎力の評価スケ ール」を実施し、協同学習 やアクティブラーニングに 役立てている。 ③応募者数・入学者数の予 測数値を算出し入学試験を 行っている。 ④応募者数の予測値に基づ いて計画数値を算出してい る。	①入学後に休学・退学す る学生の動向をみて、全 体の把握と授業方法な どについて検討してい く必要がある。	①過去数年間の動向を 調査しまとめる。	入学者データ推移 応募者数 合格者数 辞退者数 合格率 みちしるべ（シラバス） 予算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており適切に行われている。入学卒業等認定委員会において決定し入学選考の公平性を確保している。応募者数・合格者数・辞退者数・合格率データは適切に管理している。受験に関して財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っている。	

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	①学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか ②学納金の水準を把握しているか ③学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	①学納金は学校運営委員会で審議され、入学金、授業料、実験実習費、施設費についてそれぞれに係る費用を算定している。 ②学納金は県内の看護専門学校5校の水準を把握している。 ③学納金で徴収する金額は募集要項、ホームページに掲載している			学校運営委員会議事録 学生募集要項 学生便覧 ホームページ
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	①文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	①募集要項、ホームページに入学辞退者に対する取扱いについて明示しており、授業料の返還を行っている。			学生募集要項 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容に対応し、学納金を算定している。学納金の内容は明確にし、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。また、学納金は県内の看護専門学校5校の水準を把握している。 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項やホームページに明示し、授業料の返還を行っている。	

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>安定した財務状況である。中長期的にみても学校の財務基盤は安定しており、適切に会計監査も受けている。業務は法令等に従い適正に実施されており、事業報告書は本校の状況を正しく示している。監査法人による定期監査を実施し指導を受けている。</p> <p>財務情報はホーム公開体制の環境も整い情報公開している。</p> <p>予算規程が整備されていないので課題としている。</p> <p>特にコスト管理においては、支出状況を把握し、項目別にコスト管理を行うよう努力しているが、省エネ対策も含めて電力使用について有効な方策を検討していく事が今後、更に必要である。</p>	<p>予算規定については法人全体で検討することとされていたが、法人全体での整備に時間を要するため学内において内部規程で整備した。</p> <p>更に、省エネ対策も含めて電力使用について有効な方策を業者から提案いただき有効な方策については中期計画に盛り込んでいく。。</p>	<p>県から学校運営費の補助を受けており、財務管理においても県の要綱に従い管理、運営を行っている。</p>

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	①応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか ②収入と支出はバランスがとれているか ③貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか ④消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか ⑤設備投資が過大になっていないか ⑥負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	①毎年、応募者数・入学者数の推移を把握している。 ②収支のバランスはとれている。 ③中期計画を見直し対処している。 ④原因を分析し計画的に対処している。 ⑤設備投資は中期的な計画の元、過大にならないよう行っている。 ⑥借入金は返還可能見通しの元、計画的に返還している。			収支予算書 決算書 入学選抜試験状況
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	①最近 3 年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか ②最近 3 年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	3	①②設備投資は中期計画表に基づき行っている。 直近 3 年間の収支状況を分析し計画の見直しを行っている。			中期計画表 収支計算書（資金） 収支計算書（損益） 貸借対照表 財産目録

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	①最近 3 年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか ②キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ③教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか ④コスト管理を適切に行っているか ⑤収支の状況について自己評価しているか ⑥改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	3	③償還計画は適切に実施されている。 ④キャッシュフローの状況は随時示せるようになっている。 ⑤主要な支出科目は比率でも管理している。 ⑥電力使用量に関しては、デマンド装置で管理しており常に省エネに努めている。通信費については、現状のサービス内容を調査し無駄な通信費用がないか更なる省エネ対策も含めて電力使用について有効な方策を検討していく事が必要である。 ⑦予算作成時に自己評価を行い修正している。 ⑧財務改善が必要な場合には改善計画を策定している。	⑥省エネ対策も含めて電力使用について有効な方策を検討していく事が更に必要である。	⑥業者から提案いただき有効な方策については中期計画に盛り込む。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務基盤については、中期的な教育目標（計画）の基、予算計画を立て安定した運営ができるよう、職員の中でも情報共有している。特にコスト管理においては、支出状況を把握し、項目別にコスト管理を行うよう努力しているが、省エネ対策も含めて電力使用について有効な方策を検討していく事が今後、更に必要である。	

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	①予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか ②予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	①職員会議において、教育目標、教育事業計画との整合性を図っている。 ②予算の編成過程及び決定過程は運営委員会、財務委員会、理事会、総会の過程で審議しており明確になっている。			収支予算書 事業計画書 総会資料
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	①予算の執行計画を策定しているか ②予算と決算に大きな乖離を生じていないか ③予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか ④予算規程、経理規程を整備しているか ⑤予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	4	①②予算については、各部署、領域別に必要な消耗品と物品購入計画の提供指示を行っている。予算執行と決算については3月総会にて審議・決定をしている。 ③補正予算を作成して補正措置を適切に行っている。 ④予算規定はない。 ⑤物品購入等は予算内の費用管理を徹底している			理事会・財務委員会資料 証憑つづり

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標（計画）を基に予算を策定し、中期的な予算計画も策定しているが、予算規定を整備しておらず課題である。	

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	①私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか ②監査報告書を作成し理事会等で報告しているか ③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか ④監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	①定款に基づき、適切に監査を実施している。 ②監査報告書を作成し理事会等で報告している。 ③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施している。 ④監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。			定款 監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の業務は法令等に従い適正に実施されているものである。また、事業報告書は法令に従い、本校の状況を正しく示していると考え。公認会計士による定期監査を実施し指導を受けている。	

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	①財務公開規程を整備し、適切に運用しているか ②公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか ③財務公開の実績を記録しているか ④公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	①②③毎年、財務諸表、事業報告書を作成し6月にホームページで公表している。 ④積極的に公開に取り組んでいる。			事業報告書 決算書（財務諸表）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報は、ホームページにおいて公開している。	

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ており、運営に必要な規則・規程等は、整備し適切に運用している。社会保険労務士との相談体制についても整っている。個人情報保護に関することや学務システムおよびサイトに関しても、適切に運用している。学生に対しては、意見箱を設置し、教職員のコンプライアンスに関する窓口として顧問弁護士が設置されている。</p> <p>個人情報保護に関する取り扱い・規程を定め、適切に運用している。学生へは個人情報保護・管理、SNSの取り扱い、通信機器などのマナーなどについては、学校生活や実習における教育指導や特別講義を通して、周知している。</p> <p>ICT 活用の拡大に伴い、遠隔授業を受講する際の誓約書や情報の取り扱いマニュアルの作成及び研修の計画を立案していく事が必要である</p> <p>コロナ禍により、オンライン講義や実習が導入されたことで、紙媒体やデータなどの活用方法の変化への対応が求められ、適切に運用できるよう、個人情報保護・管理に関して整備していくことが必要である。</p> <p>学校関係者評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに掲載している。</p>	<p>コロナ禍により、オンライン講義や実習が導入され、ICT（情報通信技術）の活用が進められている。ICT活用の拡大に伴い、遠隔授業を受講する際の誓約書や情報の取り扱いマニュアルの作成及び研修の計画を立案していく事が課題である</p>	

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<p>①関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか</p> <p>②学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか</p> <p>③セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか</p> <p>④教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか</p> <p>⑤教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか</p>	3	<p>①②関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則・規程等は、整備し適切に運用している。</p> <p>③ハラスメントについての規程と対応マニュアルについて、学生便覧で明記している。</p> <p>④コンプライアンス相談窓口に対応するために学生に対しては、意見箱を設置し、開封責任者を明確にしている。教職員のコンプライアンスに関する窓口として、顧問弁護士が設置されている。</p> <p>⑤学生は入学時のオリエンテーションや実習前のオリエンテーション等で学生便覧に沿って法令遵守に関する教育を行っている。教職員は法令改正等に関する専門的な視点からの研修は行われていないため、研修会をお粉うっていく必要がある。</p>	<p>⑤教職員は法令改正等に関する専門的な視点からの研修は行われていないため、研修会を行っていく必要がある。</p>	<p>⑤社会保険労務士からの講義や研修を企画していく。</p>	<p>保健師助産師看護師養成所指定規則</p> <p>看護師養成所の運営に関するガイドライン</p> <p>ハラスメント防止に関する規定</p> <p>個人情報保護規定</p> <p>学生便覧</p> <p>臨地実習概要 (臨地実習に伴う守秘義務に関する誓約書)</p> <p>就業規則・規程</p> <p>意見箱の意見に対する回答</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則・規程等は、整備し適切に運用している。社会保険労務士との相談体制についても整っている。学生へのコンプライアンス相談窓口については、意見箱を設置し対応している。教職員のコンプライアンスに関する窓口としては、顧問弁護士が設置されている。学生への法令遵守に関する教育は入学時オリエンテーション等で説明しているが、教職員は法令改正等に関する専門的な視点からの研修は行われていないため、今後研修会を行っていく必要がある。</p>	

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<p>①個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか</p> <p>②大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか</p> <p>③学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか</p> <p>④学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか</p>	3	<p>①個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用している。学務システムに関しても教職員ごとにパスワードを設定し、閲覧更新制限を設けている。実習施設等で動画撮影依頼する際は、学校での取り扱い方法などを記載した誓約書を交わしている。学生に遠隔授業を受講する際の禁止事項に関する誓約書を交わしている。</p> <p>②サーバーを学生用と職員用で分けて運用している。USBのウイルスチェックを行っている。</p> <p>③学校 HP の運用にあたっては、特定の職員のみ取り扱いができ情報漏えいの防止策を講じている。在学生専用ページではパスワードを設けている。</p> <p>④入学時に学生便覧の個人情報保護に関する規程に基づき学生へ説明している。また SNS と個人情報管理について特別講義を行っており、実習前にも追加でオリエンテーションを行っている。教職員は、毎年度、学生に関する個人情報の誓約書を交わしている。</p> <p>ICT 活用の拡大に伴い、情報の取り扱いマニュアルの作成や研修を行っていく必要がある。</p>	ICT 活用の拡大に伴い、情報の取り扱いマニュアルの作成や研修を行っていく事	ICT 活用の拡大に伴い、情報の取り扱いマニュアルの作成や研修の計画を企画していく	<p>個人情報保護に関する規程 学生便覧</p> <p>臨地実習概要</p> <p>臨地実習に伴う守秘義務に関する誓約書</p> <p>個人情報保護に関する説明書・同意書</p> <p>学内実習時の動画撮影および動画使用に関する誓約書</p> <p>遠隔授業を受講する際の誓約書</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用している。学生へは、SNSと個人情報管理について入学時のオリエンテーションや特別講義で周知している。ICT活用の拡大に伴い、遠隔授業を受講する際の誓約書や情報の取り扱いマニュアルの作成及び研修の計画を立案していく事が課題である</p>	

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ②実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか ③評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施している。 ②実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全教職員で取組んでいる。 ③評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいる。			就業規程 ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録 学校満足度評価
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	①評価結果を報告書に取りまとめているか ②評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	①②評価結果をホームページに掲載している。			ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ②実施のための組織体制を整備しているか ③設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか ④評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4	①②③④ 評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに掲載している。			ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録 学校満足度評価

9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	①評価結果を報告書に取りまとめているか ②評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	①②評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに公表している。			ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録
--------------------------	--	---	--	--	--

9-34 (2/2)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>実施にかかる組織体制を整備し全教職員で取り組み、評価結果に基づき学校改善に取り組んでいる。評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに公表している。</p>	

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	①学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか ②学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4	①学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開している。 ②学生、保護者、関連業界等へブログやホームページに公開している。新聞社からオンライン実習の様子の取材依頼を受け、新聞に掲載されている。			学校案内 募集要項 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開し、学生、保護者、関連業界等へブログやホームページに公開している。コロナ禍の実習に関して新聞社からオンライン実習の様子の取材依頼を受け、新聞に掲載されている。	

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>実習施設との連携にも力を入れ、ティーチングアシスタント（T・A）の活用を行い、臨地実習施設と学校の教育連携推進会議（ユニフィケーション会議）を開催し、講師のキャリアアップのために認定書を交付している。就職指導に関しては、県内の実習病院を中心に就職説明会を行っている。実習病院や各専門学校、医療系大学、沖縄県と広く連携しながら運営ができています。学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放の方向だったが、コロナ禍のため、一部オンラインなど方法を工夫した。</p> <p>ボランティア活動など社会活動については、コロナ禍のため、積極的な参加はできなかったが、新型コロナウイルス感染症対策について、国や県のガイドラインに沿って、学生会活動、委員会活動へつなげ、学校全体で取り組んでいる。</p> <p>今後の中長期的な事業計画として地域共生社会（SDGs）への活動を明記し、できることや身近なことから取り組めるよう勉強会や研修会を企画していく必要がある。</p>	<p>ボランティア活動など社会活動については、地域の状況を確認し、感染対策を行い、社会につながる環境が整った場合は実施していく。</p> <p>社会活動については、世界全体が共に取り組むべき普遍的な目標である、持続可能な普遍的な目標（SDGs）に関する研修会を教職員研修として企画していく。</p>	<p>『認定書交付』</p> <p>学校と実習施設との連携として教育連携推進会議（ユニフィケーション会議）を開催し、技術教育に携わった方、講義を行った方へキャリアアップの成果として認定書を交付している。</p> <p>学生会活動（ボランティア活動）</p> <p>ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励し、学生の活動実績を評価し、卒業時に表彰している。</p>

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<p>①産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか</p> <p>②企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか</p> <p>③国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか</p> <p>④学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか</p> <p>⑤高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか</p> <p>⑥学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか</p> <p>⑦地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか</p> <p>⑧環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか</p> <p>⑨教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか</p>	3	<p>①②実習病院や各専門学校、医療系大学、沖縄県と連携しながら運営している。実習施設との連携としてティーチングアシスタントの活用を取り入れている。さらに、臨地実習施設と学校の教育連携推進会議（ユニフィケーション会議）を開催し、講師のキャリアアップのために認定書を交付している。就職支援に関しては、県内の実習病院を中心に就職説明会を行っている。</p> <p>学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放している。</p> <p>③社会人入学生へは、教育訓練給付金制度の周知・活用をアナウンスし、証明書を発行している。</p> <p>④看護学生支援の輪～つなぐ～に会場を提供した。献血車の場所を提供した。</p> <p>⑤高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援している。</p> <p>⑥コロナ禍のため人数制限を設けオープンキャンパスを行い、高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援している。</p> <p>⑦ファミリーサポートなどの地域の受講者等を対象とした講座に講師を派遣している。</p> <p>⑧ペットボトルのキャップを集め、環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動をしている。節電などの省エネ対策、学内外の清掃活動などを行</p>			<p>専門実践教育訓練講座指定等通知書</p> <p>校内実習 TA 派遣計画書</p> <p>講師派遣計画書</p> <p>臨地実習施設と学校の教育連携推進会議録</p> <p>オープンキャンパス実施要項</p> <p>学校祭実施要項</p> <p>講師派遣依頼回答公文書</p> <p>エコキャップ回収感謝状</p> <p>ホームページ みちしるべ（学習シラバス） “新たな学校生活のためのガイドブック</p>

		<p>っている。新型コロナウイルス感染症に係る保健所の業務支援に職員を派遣している。また学生も、地域のワクチン接種会場のスタッフとして貢献している。</p> <p>⑨新型コロナウイルス感染症対策について、国や県のガイドラインに沿って、“新たな学校生活のためのガイドブック”を作成し、学生会活動、委員会活動などにつなげ、学校全体で取り組んでいる。</p> <p>⑨新型コロナウイルス感染症対策について、国や県のガイドラインに沿って、“新たな学校生活のためのガイドブック”を作成し、学生会活動、委員会活動などにつなげ、学校全体で取り組んでいるが、</p> <p>⑨最近特に環境問題や社会問題として見聞きするようになった持続可能な開発目標（SDGs）について学生は、環境科学の授業で学んでいるが、教職員は（SDGs）について社会問題や社会課題に対する意識の醸成のための基礎的な知識の習得が不十分であり、研修は行っていなかったため、新たな取り組みとして企画していく必要がある。</p>	<p>⑨学生・教職員共に持続可能な開発目標（SDGs）についての基礎的な知識の習得が不十分。</p>	<p>⑨持続可能な開発目標（SDGs）について社会問題・社会課題についての意識の醸成を図るための研修会や勉強会企画する。</p>	
--	--	--	--	--	--

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取組んでいる か	①海外の教育機関との国際 交流の推進に関する方針を 定めているか ②海外の教育機関と教職員 の人事交流・共同研究等を 行っているか ③海外の教育機関と留学生 の受入れ、派遣、研修の実 施など交流を行っているか ④留学生の受入れのため、学 修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取組 んでいるか ⑤留学生の受入れを促進す るために学校が行う教育課 程、教育内容・方法等につ いて国内外に積極的に情報 発信を行っているか	3	①②③アメリカに姉妹 校として締結してい る学校はあるが、実践的 な国際交流は行われて いない。 ④⑤留学生受入れ体制 として整備されていな いため、情報発信も行え ていない。	①②③④⑤身近なと ころで、できることから考 え取り組んでいくため に、県内にある JICA と の連携を図ることで、国 際的な看護に関心を持 てるようにしていく。	①②③④⑤県内にある JICA との連携を図れる ような工夫を検討して いく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>実習施設との連携としてティーチングアシスタント（T A）の活用を取り入れ、 臨地実習施設と学校の教育連携推進会議（ユニフィケーション会議）を開催して いる。また、オープンキャンパスなどで高等学校の職業教育等の授業実施に協力・ 支援している。またペットボトルのキャップを集め、環境問題など重要な社会問 題の解決に貢献するための活動は継続している。持続可能な開発目標（SDGs）を 意識して取り組んでいく必要がある。国際交流に関しては身近なところで、でき ることから考え取り組んでいくために、県内にあるJICAとの連携を図ること で、国際的な看護に関心を持てるように拡大していく事が課題である。</p>	<p>実習施設との連携としてティーチングアシスタント（T A）の活用を行い、 看護技術教育を行っている。 学生会主体のボランティア活動を行い、ペットボトルのキャップ集めを通し て環境問題への関心を啓発する機会としている。</p>

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	①ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか ②活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか ③ボランティアの活動実績を把握しているか ④ボランティアの活動実績を評価しているか ⑤ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	3	①②③④ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励し参加している。今後は学生が社会活動として視野を広げ持続可能な普遍的な目標（SDGs）を意識し、できることから身近なところから始められる活動には何があるか、教職員と共に学びながら取り組んで行けるように活動支援を行っていくことが必要。 ③④⑤ボランティアの活動実績を評価し、卒業時に表彰している。	持続可能な普遍的な目標（SDGs）を意識した活動には何があるか、教職員と共に学びながら取り組んで行けるように活動支援を行っていくことが必要。	今後、持続可能な普遍的な目標（SDGs）を意識しながら勉強会などを開催する。	ボランティア活動報告書(感想綴り) ボランティア特別活動賞表彰者名簿 ホームページ ブログ 学生便覧 那覇市医師会報

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励し参加しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年に比べ実施できない状況であったが、数少ない機会に実施した学生のボランティア活動実績に基づき、卒業時に表彰を行う。今後は、社会活動として視野を広げ持続可能な普遍的な目標（SDGs）を意識した活動には何があるか、教職員と共に学びながら取り組んで行けるように活動支援を行っていく。	

4 令和3年度重点目標達成についての自己評価

令和3年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>1 安定した学校運営</p> <p>2 教育課程の円滑な運営</p> <p>3 教職員の資質の向上</p> <p>4 教育環境の整備</p>	<p>1. 安定した学校運営 教育目的・目標の達成に向けて組織体制・財政基盤の安定化については、均衡のとれた財政管理に努め、支出については適切な節減に努めることができた。 年度末に学校運営全般の自己点検・自己評価を実施し事業の成果状況と課題を明らかにし、結果を公表することができた。</p> <p>2. 教育課程の円滑な運営 外来講師の確保定着については問題なく行えた。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、7クール全て実習施設における臨地実習は行えなかったが、実習細切のご協力の下、学生の学びの保証ができるよう、学内実習に置き換え、オンライン、動画などあらゆる教材を活用・工夫し、よりリアリティーに近い実習が実践できるよう工夫し行うことができた。 臨地実習非常勤教員のマンパワーにおいては支障なく運営することができた。 看護職に必要な自己教育力、社会人・組織人としての基礎的能力の育成については、オンライン実習評価ができるよう評価表を見直し「step up スケール 看護師として必要な基礎力」を継続的に活用し学生自身で自己評価を行い、自己成長を確認することができた。実習指導者とのユニフォーメーション会議における対面による情報交換は中止しオンライン会議及び書面会議とした。技術教育については実施可能な時期に関わって頂くことはできた。学則変更に伴う新カリキュラムを完成させることができた。</p> <p>3. 教職員の資質の向上 年度初めに計画していた研修がコロナ禍において中止及び延期になる者があったかったが、オンライン研修会が企画されたものについて受講する機会ができた。新任教員研修会も他校の新任教員も参加し実施することができた。キャリアラダーを活用した目標管理に基づく評価面接を年2回(中間・年度末)実施することができた。</p> <p>4. 教育環境の整備 運営ガイドラインに基づき機械器具、模型や図書を十分に整備し、図書室については20時まで開放し学生が学習しやすいように体制を整えることができています。施設整備に関しては、法定点検や日常点検を定期的に行っている。駐車場の整備も行うことができた。花壇の美化については時期により手入れを行っているが、十分には行き届いていない。感染予防策として学校の玄関前に非接触型サーモグラフィを設置し学生、教職員、外部の来校者等の体温管理が定着している。「本校の新たな学校生活様式」ガイドラインに基づき予防策を強化している。学生の机にはパーテーションを設置し、会食時の感染予防策、ソーシャルディスタンスを徹底して実践している。</p>	<p>・安定した対面授業や遠隔授業が行えるような体制作りと環境整備を継続して行っていく事。</p> <p>・令和4年度は新カリキュラム開始年度となり、新カリキュラム及び現行カリキュラムによる学校運営を行うため、スムーズな学校運営、選ばれる学校をめざし、教職員協力し取り組んでいく</p>

令和3年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>5 学生支援の強化</p> <p>6 入学生・卒業生への支援</p> <p>7 広報活動</p> <p>8 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換</p> <p>9 後援会及び同窓会活動の支援</p>	<p>5. 学生支援の強化 学生自らがセルフチェックできるよう「私の健康ノート」に毎日登校前、昼食前、下校時の体温測定を行い記載できるようにした。経済的支援として各奨学金の紹介や個別相談に対応することができた。 ②社会人・組織人としての基礎的能力、就職・進学等キャリア発達を支援する。 ③国試対策として3年間の支援計画の下、国家試験合格100%をめざし、教員及び学生の国試対策委員を中心にかかわることができた。</p> <p>6. 入学生・卒業生への支援 入学前支援として、入学予定者へプレスクールを初回は対面で行い2回目、3回目はオンラインにて実施することができた。卒業後支援として卒後5か月目と卒後1年目に里帰りをオンラインで実施することができた。就職先との連携・教育へのフィードバックができるよう就職先訪問を計画していたが、コロナ禍により訪問は中止した。</p> <p>7. 広報活動 日頃の学校生活等について学校ホームページで紹介することができた。学校説明会は中止した。学校祭は中止し、ICTプロジェクトチームおよび学生会の協力の下、オンラインにて実施することができた。</p> <p>8. 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換 学生のボランティア活動はコロナ禍にあり募集もなく参加することができなかった。地域の児童・生徒の学校見学会の申し出や職場体験等もなかった。沖縄県看護教育協議会との情報交換については校長役員会や再教育研修会、領域会議等を通して情報交換はできている。</p> <p>9. 後援会及び同窓会活動の支援 後援会及び同窓会活動がさらに活発に行えるよう事務的支援を行った。</p>	